

保護者・地域の皆様

令和6年度 改善方策について実行した改善結果

世田谷区立武蔵丘小学校
校長 今宮 直樹

前年度に提案した改善方策について実行した結果を、下記のとおり設定します。

記

重点目標

1 計画的、組織的なキャリア・未来デザイン教育のさらなる推進

(1) 改善方策

- ・児童へは、キャリア・未来デザイン教育につながる、「せたがや探究的な学び」を踏まえ、学習や生活のめあてを振り返り、見通しをもって自己実現できる力を育てる「むさし探究的な学び」を引き続き行う。
- ・児童の自主的な目標を尊重し、すぐに調べ、探究できるようにICTタブレット機器の効果的な活用を一層進める。
- ・保護者と地域への発信として、キャリア教育の年間計画を見直し、地域人材を生かして計画的、組織的にキャリア・未来デザイン教育を推進するために、キャリア教育のねらいと活動の内容、人材の募集や活用を、保護者会や学校だより等で周知する。

(2) 改善結果

- ・重点目標にした理由は、児童の評価において、「自分の生き方や将来のことについて考える授業」が昨年度より減少していたためである。
- ・校内研究では、せたがや探究的な学びの学習プロセスを踏まえ、見通しをもち、むさし探究的な学びへと継続した。学校の身近な単元を取り上げたことで、より意欲関心が向上し、結果的に自己実現へとつながった。
- ・即時に、かつ自主的に調べられるよう、ICTタブレットの活用を促し、児童に文房具的要素として意識付けられた。
- ・年度当初から、保護者会や学校運営委員会等で、キャリア・未来デザイン教育の推進を、周知、発信した。またキャリアパスポートも効果的に活用できた。さらに地域コーディネーターを生かして、人材の活用を有効に行えた。

2 学校と地域における情報提供と連携の一層の充実

(1) 改善方策

- ・地域からの、学校だよりや、ホームページに関する評価は依然高いが、保護者から見た地域への評価が減少している結果である。実際に地域と密なる連携をしているのが事実

なため、そのことを保護者会などで、誤解なく保護者に分かりやすく理解できるよう周知する。

- ・ホームページや学校だよりで、今まで以上に地域への発信を意図的に多くし、そのことを保護者に伝えていく。
- ・児童へは、地域人材の活用で感謝の意をもたせ、授業内容の発信とともに連携を深める。

(2) 改善結果

- ・重点目標にした理由は、保護者の評価において、「本校は地域に情報を提供している」が昨年度より減少していたためである。
- ・学校ホームページのトップである巻頭言に、日々、校長自らが学校行事や学校の様子をより分かりやすく発信してきた。
- ・月に1度の学校だよりだけではなく、これまで以上に随時更新した情報発信は、保護者や地域にとって有効であった。
- ・多くの地域の方々が児童に関わっていただき、学習において知識だけではなく、コミュニケーションの機会をたくさん得た。地域への感謝の気持ちを高めることができ、連携も深まったと思われる。